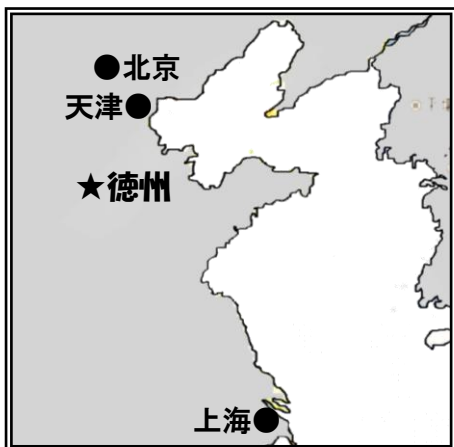


タンポポT-1の工場見学して来ました！



平成22年8月22～23日
日頃販売させて頂いていますタンポポT-1や松康泉などの徳潤製品が、どのような環境で作られているのか、この目で確認するため8月22～23日に工場がある中国の德州まで行って来ました。德州は北京から車で高速を4時間程度走った所にあり、工場の敷地は700坪くらいで、建物は2階建てで100坪程度のものが3つ並んでいました。工場内の職場環境維持レベルは6Sというハイレベルでゴミ1つない、とっても清潔で衛生的な工場でした。

6Sとは、

整理 (SEIRI)	整頓 (SEITON)	清掃 (SEISO)
清潔 (SEIKETSU)	躰 (SHITSUKE)	安全 (SAFETY)



私は皆様の笑顔が素敵だったので、**笑顔(SMILE)**をプラスして **7S企業** だと思いました。

德州の人口は560万人、中心部は70万人だそうです。
ちなみに中国全体の人口は14～15億とされています。
邵輝先生は「徳州市は田舎ですヨ」と言ってらっしゃいましたが、とんでもない！ソーラーシステムのマンションなどが建設ラッシュで発展した街でした。

マンションの上にあるのが、ソーラーパネルです。 →
より多くの太陽熱を吸収するため波型になっているようです。
德州は比較的空気のきれいな街だと思いました。



さて、工場内を見学するには、まず靴にキャップをして、消毒液を浸してあるシートの上を歩き、足の消毒をします。そして、白衣と帽子に着替え、手洗いと消毒は念入りにします。石けんでの手洗いだけでなく、塩素消毒もしっかりします。





← タンポポの葉を抽出するタンク。この部屋は特に人の出入りが厳しく、限られた人しか入れません。各部所の責任者も決まっています、とっても真面目な人達ばかりでした。



濃度や色素の比較、タンポポの薬理作用やその他の有効成分の分析もしています。



← 研究しているのは薄（ハク）さんで、彼女は今年の9月より富山大学に1年留学するそうです。



← タンポポ茶の製造日が分かるようにロットが印字されています。



出来上がったタンポポT-1の四隅をお客様の手が切れたり傷つくことのないように、数人の女性が手作業で丸くはさみを入れてくれます。こんなに手をかけて下さっているなんて、涙が出ちゃいました(;△;)



タンポポ茶を箱詰めしているお部屋です。1つ1つ丁寧に入れられています。

いつ作られたタンポポ茶なのか全て解るようになっていきます。何らかのトラブルがあっても全てのロットの商品は保存されています。



生薬を保管しているお部屋です。厳重に管理されています。



松康泉を
カプセルに
つめている所。

松康泉を
パッケージして
ロットを入れて
いる所。



タンポポの畑は別にあるそうですが、工場の敷地内の庭にタンポポがありました。

タンポポT-1に用いられるタンポポの葉は、長さ40cm幅10cmくらい大きな葉で根は使わないそうです。

《感想》

今回、遠いと思ったタンポポT-1の工場ですが、本当に行ったら良かったと思っています。工場の人達が愛情を込めて製品化して下さっている事がよく解りましたので、売り手の私達もより一層愛着を持ってお客様にお届けしないとイケないなあと思いました。

中国製というとなんとなく「大丈夫かなあ?」と思っていましたが、これだけしっかりと管理され、清潔な工場で作られているタンポポ茶 他、徳潤の製品ならば安心してお勧め出来ると確信しました。

タンポポT-1に含まれる糖鎖T-1が脳下垂体に直接に働いて、ホルモン分泌を良くして新陳代謝が高まり(冷え)や(むくみ)が改善されるとともに尿の出も良くなり、身体に蓄積した毒素を出してくれる。これが大きな働きですが、まだ解明されていない成分や薬理研究もして頂いているということなので、未来につながるさらなる期待として夢をふくらませておきましょう。

私も感謝の心を持って毎日の「焼酎のタンポポ茶割り」を続けて、ホルモン分泌を活性化して、いつまでも若々しく美しく(?)元気でいたいと思います。

晴快堂漢方薬局
澄川 すみえ



写真提供 : はくすい薬局・あおぞら薬局 (デジカメを忘れて行ったドジな私でした!)

